

## (11月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		13,613	100	12,218	56	98	57	90	0.7	千葉、神奈川県産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は10月下旬から出荷が始まった。生育は例年より遅れている。出荷も後ろにずれ込み、ピークは11月に入ってからの見込み。神奈川県産は前年並みに11月中旬からの出荷となる見込み。作付けは前年並みでピークは12月に入ってからとなる見込み。全体の入荷量は前年並みで価格は前年をやや下回る見込み。
にんじん		7,834	95	7,567	119	101	110	-	-	千葉、北海道産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は昨年より7日遅い11月5日頃からの出荷となる見込み。面積は増加しているが、8月の豪雨により苗が流される被害があり、入荷量は前年並みと見込まれる。北海道産は11月中旬まで日量800~1,000ケース出荷を予定している。11月としては前年並みの入荷見込み。全体の入荷量は北海道産の切りあがり早いことと、関東産地の作付け減少から前年を下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
はくさい		12,779	100	12,854	41	98	42	-	-	茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。茨城産は9月までの天候不順が影響し、現状では生育が遅れている。しかし、10月の天候が良かったことから11月には前年並みに回復すると予想される。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。
ほうれんそう		2,074	100	2,022	371	97	358	-	-	群馬を中心とする関東産が市況をリードする。群馬産は11月も10月と同じペースの入荷が見込まれる。播種作業も順調で前年並みの入荷見込み。全体の入荷量は前年並の見込み、価格は前年を下回る見込み。
キャベツ類		12,923	102	13,107	63	95	69	-	-	千葉、茨城、愛知産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は長雨と日照不足の影響で生育が遅れており、11月の入荷量は前年を下回る見込み。愛知産も大雨と低温の影響で前年より遅れ、本格的な出荷は中旬からとなる見込み。茨城産は肥大も良好で11月初めから出荷ピークとなる見込み。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。

## (11月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ねぎ		5,642	103	5,811	291	76	225	232	4.1	青森を中心とする東北産と埼玉などのねぎ産地が市況をリードする。青森産は月を通じて前年並みの日量500ケースの入荷見込み。埼玉産は11月に入ると入荷量の増加が見込まれる。出荷ピークは12月に入る見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は高値あった前年を大きく下回る見込み。
レタス類		7,446	100	6,947	130	92	158	-	-	茨城産中心の入荷で約6割を占める。茨城産は8月下旬の降雨の影響により優品が多く、出荷も遅れている。11月に入れば品質も向上し、入荷量も増えるので、入荷量は前年並みに回復する見込み。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を下回る見込み。
きゅうり		5,068	102	5,200	321	88	277	16	0.3	埼玉を中心とする関東産の抑制ものが市況をリードする。埼玉産は加温栽培が中心となる。無加温栽培は中旬まで入荷するが、量的には徐々に減少。加温栽培は前年並みの作付けで順調な入荷が見込まれる。千葉産も作付けは前年並み、入荷量も11月は前年並みの見込み。全体の入荷量は関東産が順調なことから前年をやや上回り、価格は前年を下回る見込み。
なす		2,360	98	2,201	279	105	323	-	-	高知産中心の入荷で全体の約6割を占める。高知産は生育・着果順調で11月は平年並みの予想。全体の入荷量はやや前年を下回り、価格は前年を上回る見込み。
トマト		4,792	95	5,167	418	121	380	24	0.5	千葉、茨城を中心とする関東産及び愛知、熊本の暖地ものが市況をリードする。千葉産は越冬ものが出始めている。作付けは平年並みで入荷も前年並みとなる見込み。熊本産は8月の天候不順で着果不良となり、11月は入荷減と見込まれる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を下回る見込み。
ピーマン		1,931	97	1,943	330	115	294	-	-	茨城、宮崎産中心で全体の約8割を占める。茨城産は着果も良く、作柄良好。11月は不作だった前年を上回る見込み。宮崎産は作付けが今年の9割と減っていることと生育が7日遅れとなっていることから入荷は前年を下回る見込み。全体の入荷量は前年を下回り、価格は前年を大きく上回る見込み。

(11月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実 績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平 均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ばれいしょ		7,583	100	6,859	87	109	99	-	-	北海道産中心の入荷で市況をリードする。北海道産は収穫を終了している。11月の出荷ペースは前年並みを見込んでいる。大きさについては小玉傾向。全体の入荷量は前年並み、価格は前年を上回る見込み。